

令和6年12月定例会会議録

(令和6年12月23日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 12月定例会会議録

- 【開催日】 令和6年12月23日（月）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長
早 田 蛭 教育委員
澤 村 互 寛 教育委員
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長
下 津 恵 美 教育部次長
松 本 康 祐 教育部次長
松 本 豊 教育政策課長
加 賀 真 一 学校教育課長
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長
泉 宣 孝 生涯学習課長
高 嶋 宏 幸 教育サポートセンター所長
上 角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長
- 【事務局】 萩 本 誠 子 教育政策課教育政策係長
松 本 和 美 教育政策課上席参事
- （審議事項） <議案案件>
① 八市教委議第26号 「学力向上やつしろプラン」の改訂について
② 八市教委議第27号 「不登校対策やつしろプラン」の改訂について
- <報告案件>
① 報告第21号 八代市議会令和6年12月定例会について
② 報告第22号 八代市立図書館管理者の指定について
③ 報告第23号 令和7年度八代市学校・子ども教育応援基金事業案の決定について
④ 報告第24号 令和6年度12月補正予算の概要について
1. 開会 (午後3時30分 開会)
2. 会議録の承認 令和6年9月定例会、10月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

<八市教委議第26号> 「学力向上やつしろプラン」の改訂について

加賀学校教育課長 9月及び11月定例会において、教育委員の皆さまからいただいたご助言をもとに、「学力向上やつしろプラン」がより良いものとなるよう学校教育課を中心に修正を行った。
資料により説明

澤村教育委員 内容については、11月定例会において確認をしているので特に問題はない。レイアウトはすっきりまとめてあり、良いと思う。このプランが各学校にしっかり周知され、それぞれの学校の実状に応じて、それぞれの学校の学力向上、不登校対策が行われることを期待する。

【八市教委議第26号 承認】

<八市教委議第27号> 「不登校対策やつしろプラン」の改訂について

加賀学校教育課長 11月定例会において、教育委員の皆さまからいただいたご意見をもとに、再度検討し修正を行った。資料により説明

丸山教育委員 内容に関しては、しっかり検討いただいており特に問題はない。先ほどの「学力向上やつしろプラン」と合わせてであるが、澤村委員がおっしゃったように、しっかり学校で活用されることが大事である。本日、このプランが承認された後、学校への周知等はどのような形で行われるのだろうか。

加賀学校教育課長 学校への周知は大事な部分であると考えている。本来は、年頭研修会で周知をしたかったが、オンデマンド開催となったため、今後、複数回行われる校長園長会を中心に周知を行いたい。先生方の拠り所となるように、まずは先生方にしっかり示したい。また、次年度、学校のメンバーが変わるので、改めて伝えていきたい。

【八市教委議第27号 承認】

<報告第21号> 八代市議会令和6年12月定例会について

田中教育部長 八代市議会12月定例会においては、9人の議員から次の9件の質問があった。資料により説明

① 橋本 隆一 議員

・本市の小・中・特別支援学校における人権教育について

- ② 太田 広則 議員
 - ・本市における教員の働き方改革の推進について
 - (1) デジタル採点システムの導入
 - (2) 保護者との連絡アプリの活用
- ③ 野崎 伸也 議員
 - ・市有施設の予約開始日と利用条例及び施行規則の見直しについて
- ④ 堀 徹男 議員
 - ・八代市通学路安全プログラムの取組状況について
- ⑤ 堀口 晃 議員
 - ・薬物乱用防止の取組について
 - (2) 小中学校における啓発の取組
- ⑥ 山本 敬晃 議員
 - ・本市の教職員の働き方について
- ⑦ 木村 博幸 議員
 - ・本市におけるこどもまんなか社会推進の取組及び八代市子ども会連合会の活動について
 - (2) 八代市子ども会連合会の活動
- ⑧ 大倉 裕一 議員
 - ・本市における令和7年3月卒業予定者の進路について
- ⑨ 橋本 貴喜 議員
 - ・鏡まちづくり協議会における子ども未来塾について

丸山教育委員

C B T方式のテストについて、費用をかけずに先行的に実施しているとのことであるが、これは、そもそも全く費用がかからないのだろうか。それとも本格導入したら費用がかかるのだろうか。

松本教育政策課長

C B Tというのは、コンピューターで行うテストすべてを言う。本市で先行的に行っているのは、マイクロソフトのフォームズというソフトを使用している。アンケートソフトであるが、試験の出題にも利用できるため、このソフトを使用してテストを実施している学校もある。また、本市で導入しているeライブラリという学習支援ソフトでもテスト形式のものがあるので、これでテストを実施するのも一種のC B Tとなる。現在、使用しているソフトでテストを実施しているという状況である。

丸山教育委員

先生方が工夫して、ソフトを活用してテストを実施しているということということで理解した。

田中教育部長

今後、全ての先生方がソフトを活用する技術、能力を身に付けられるよう、研修体制を強化していきたいと考える。

澤村教育委員 ニュースでも拝見したが、来年度から全国学力・学習状況調査を順次、C B T方式で実施していくことが決定したとある。八代市で実施された場合、対応できるのだろうか。

加賀学校教育課長 来年度の全国学力・学習状況調査は、中学校の理科についてC B T方式で実施される。今年度は、試験的に行っている部分もあるので、それを踏まえて課題等が見えてくると思う。初めてのことで、来年度の全国学力・学習状況調査はどうなるか分からないが、推奨していきたいと考える。

田中教育部長 子供たちにとっても、C B T方式の試験に慣れておく必要がある。

澤村教育委員 通学路の安全面について、以前の通学路の安全点検は、交通事故防止や不審者対策が中心であったが、答弁を見ると、「倒壊のおそれがある家屋」への対応についての記載がある。今後は加速度的に空家が増えると思う。現在でも、放置されている空家もあるし、倒壊の恐れのある空家が通学路の近くにあると危険だと思う。また、山間地については、山間地に面する道路があり、野生動物が出てくる危険がある。竹林などは手入れがされていないと、竹が枯れて通学路に倒れてくる危険もある。田畑が放置されると、あっという間に荒地になり、害獣や害虫などが発生し、子供たちにとっては危険であると思う。学校としても、交通安全や不審者対策以外にも目を向けて、点検を行う必要があると思う。そのためにもP T Aや地域の方と情報交換しながら、子供たちの指導をする必要があると思う。

早田教育委員 10年程前に、実家の近くの空家が倒壊した音を聞いたことがある。雷が落ちたのか大地震が起こったのかというくらいの音で、何事かと思えば外に出たら、空家が倒壊していた。通学路の隣でこのようなことが起こると怖い。空家の放置については、市が代行で解体するというわけにもいかないし、深刻な問題になるのではないかと感じている。

2点お尋ねしたい。八代市子ども会連合会について、旧八代市を除く、坂本、千丁、鏡、東陽、泉の5部会、67団体でスタートしたとあるが、旧八代市も含まれるのか、旧郡部だけの組織なのか。また、鏡まちづくり協議会で行われている子ども未来塾は、八代市が行っている八代市未来創造塾と関係があるのだろうか。

泉生涯学習課長 八代市子ども会連合会について、合併当時、旧八代市には子ども会関係の組織はなかったため、旧郡部子ども会だけの組織である。

子ども未来塾については、八代市未来創造塾との関係はない。

田中教育部長 合併時にスタートした5部会、67団体、3,022人に、旧八代市は含まれていない。合併前の旧町村については、それぞれに八代郡子ども会育成連絡協議会があった。旧八代市は各町内に子ども会はあったが、このような団体はなかった。合併協議の中で、旧町村については、八代市子ども連絡協議会として事業を継承することとなった。旧八代市については、周知して順次取り込んでいこうということでスタートした。一旦、加入された地区もあったが、脱退され、現在は千丁と鏡の2地域となっている。

中教育長 鏡まちづくり協議会で行われている子ども未来塾は、鏡まちづくり協議会が独自で、子供たちの育成のために発案されたものである。

早田教育委員 未来塾は、ほかの地区で学校で行われているか。

中教育長 生涯学習課において、地域学校協働活動事業として、地域未来塾という学習支援の事業がある。

田中教育部長 鏡町は、坂本、東陽、泉に続き、令和4年度より過疎地域に指定された。地域においてもいろいろな部分で脱却しなければならない、子供たちに鏡地域は今後どうすれば人が増えていくか考えていこうという思いから、このような取組が行われている。

<報告第22号> 八代市立図書館指定管理者の指定について

泉生涯学習課長 八代市立図書館の指定管理者について、現在の指定管理期間が令和7年3月末で満了するため、令和7年度から令和11年度の5年間の指定管理について、指定管理者候補者選定委員会において候補者選定を行った。指定管理者の指定については、議会の議決を経る必要があるため、令和6年12月議会の議決を経て指定している。資料により説明

丸山教育委員 説明会には3団体が参加されていたとのことであるが、差し支えなければどのような団体が参加されていたか伺いたい。

泉生涯学習課長 T R Cグループ共同企業体の株式会社図書館流通センター、九州総合サービス株式会社がそれぞれ参加された。応募時には、T R Cグループ共同企業体の1社となった。もう1

社はシダックスである。

<報告第23号> 令和7年度八代市学校・子ども教育応援基金事業案の決定について

松本教育政策課長 市立小中学校・幼稚園からの要望を踏まえ、提出された教育委員会各課かい事業案をもとに、令和7年度の学校・子ども教育応援基金事業案を決定し、予算要求を行った。
資料により説明

早田教育委員 防災教育の推進として防災教育講座について、この基金の事業で実施していただきありがたく思う。今年度は8校予定されており、7校が終了している。熊本県の防災教育教材を使用し、先生方に防災教育はどのように進めていったらよいかをお話ししている。3年間で全小学校の5年生に向けて推進したい。ただ、今回だけで終わるのではなく、今後先生方に実際に使っていただき、どのように防災力アップにつなげていくかというところまでお話ししながら進めていきたい。よろしくお願ひしたい。

澤村教育委員 小・中学校、幼稚園から要望があった場合、要望は叶うのだろうか。

松本教育政策課長 予算が毎年150万円程度と規定されている。今回、事業内容の見直しを行ったため、要望がいつもより多くあったが、金額を押さえながら見直す点もあり、全ての事業についてどうにか決定することができた。今まで、英検受検料の補助について基金事業で行っていたが、来年度は本予算で計上することができたので、その分他の事業を行えるようになった。

中教育長 まだ要求時点であるが、財政部局との調整はうまく進んでいるか。

萩本教育政策課教育政策係長 先日、財政課のヒアリングがあったが、全ての事業において認めていただける見込みである。査定については、消耗品等は市の基準で調整をした部分はあるが、教育委員会が認めた事業ということで大幅な査定はないと聞いている。

中教育長 現時点の話であるが、部長査定では、市全体の予算の中に収まることが大前提になるので、油断をせず最後までしっかり調整をするようお願ひしたい。

田中教育部長 令和8年度から幼稚園が6園から2園に再編されるため、

7年度に幼稚園間の交流を行いたいと考えている。公立幼稚園同士の交流を行うため、バス代などの交通費を計上している。いきなり令和8年4月1日を迎えるのではなく、スムーズに移行したいと考え予算を計上した。寄附に頼っている事業であり基金の残高が1,600万円ほどであるため、歳入も確保しなければならない。

<報告第24号> 令和6年度12月補正予算の概要について

下津教育部次長

資料により説明

●指定管理者に対する人件費補償

八代市立図書館について、委託料積算時には予測しえない賃金上昇により、指定管理者の負担が増加しているため、協定書の規定に基づき補償を行うもの。令和6年10月から令和7年3月までの賃金上昇分を計上。

●指定管理に伴う債務負担行為の設定

八代市立図書館管理運営委託更新に伴い、令和7年度から11年度までの限度額設定を行う。

●債務負担行為の設定

「歯科健診用歯鏡賃借料」他11事業について、年度当初からの履行開始に備えるため、3月中に契約締結まで行えるよう債務負担行為の限度額設定を行う。

(12月6日提案分)

●人件費

人事院勧告等に準じた給与改定に伴うもの。

田中教育部長

債務負担行為の設定についての補足であるが、債務負担行為とは、来年4月1日から業務に着手する必要があるため、今年度12月に金額を定めておくものである。最終的には3月議会で議決するが、これについては必ず必要な予算として金額を示している。来年度は、学校施設トイレ改修工事について約9億円を予算計上している。トイレ改修については、来年度が最終年度であり、この改修が終わると、小・中学校、支援学校のトイレは100%洋式化となる。

(仮称)新南部学校給食センターについて、来年度は用地造成工事を始めるため、1億5,000万円ほど予算計上している。また、GIGAスクールで導入しているパソコン等について、5年のリース更新時期となる。来年度から順に更新していくため、令和7年度は約1億円の予算を計上している。教育部は経費が増大しているが、特にトイレ改修については通常分に加え約9億円の予算を計上しており、早期のトイレ洋式化を図りたいと考えている。

丸山教育委員

トイレの洋式化工事が終了すると、教育部の大きい事業費

は終了するのだろうか。他にも予定されている事業があるか。

稲本教育部理事兼
教育施設課長

トイレの洋式化について、来年度は13校を予定している。今年度は10校が終了する。今年中には実質100%近くになる見込みである。今後の課題としては、施設の老朽化がある。トイレは新しくなるが、その他についてはかなり古いところがある。施設の耐久化、長寿命化について、来年度は3校ほど取り組みたいと考えている。計画を少しでも進めるため、まず3校の耐力度調査、基本構想に入りたいと考えている。

田中教育部長

教育施設課長から説明があったように、トイレはきれいになったが、他にも課題は多い。特に急ぐのは照明のLED化である。脱炭素という観点からも進めていく必要がある。学校再編についても今年度からスタートしているが、これを待っても学校の建て替え等は一度には行えないため、老朽化が進んでいる施設については、まずは校舎が今後も使用できるのかを調査し、次のステップの改築に向けた取組に着手していくため、教育施設課としては、来年度はある程度予算を確保したいということだった。学校数が多いため、再編と並行して改築をしていく必要がある。

丸山教育委員

学校訪問のたびに、校舎の老朽化は気になっていた。雨の日に訪問するととても暗くて、子供たちの目にも良くないのではないかと思っていた。そういったところを改善されるのは良いと思う。

中教育長

教育施設課で策定する学校の保全計画等で位置づけ、教育委員の皆さまにはお知らせしていきたい。

5. 連絡事項

教育政策課 定例会のペーパーレス化について
学校教育課 チャレンジングリッシュインやつしろ
(12/21)
英検結果について
インフルエンザによる学級閉鎖について
県立中学校選抜試験 (1/12) 合格発表 (1/23)
生涯学習課 八代市二十歳の集い (1/12)
キッズチャレンジ・親子体験イン東陽 (1/25)
市民大学後期講座・宇宙のロマンを楽しもう
(1/29)
教育サポートセンター
年頭研修会オンデマンド配信 (1/6～)
事務局 1月定例会日程確認 (1/24 10:00～)

先進地視察（2/13～14）
総合教育会議（2/18）

6. 会議録署名委員の指名 早田委員・丸山委員

7. 閉会 (午後5時9分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
